



ターゲット

- 軒下で座り込んでいた「ユウ」の様子を想像しよう。
- 「ユウ」に対する吾郎とコージの気持ちを読み取ろう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「あっ、ユウくん!」

軒下に、ユウが座り込んでいた。ランドセルを背負い、塾の手提げ袋をもったユウが、まるで捨て猫のような姿で座り込んでいた。今にも泣き出しそうな顔だった。そして、遅れて顔を出した吾郎の顔を見て、照れ臭そうに小さなお辞儀をした。

「寒かったろ、一杯やるか?」吾郎は、冗談交じりにそういうと、台所へ向かった。

コージとユウは、向かい合うように座った。(中略)

やがて、台所から吾郎が、お盆をもって現れた。

「牛乳しかないけどな、あたたまるぞ」

「すいません」ユウは、ペコリと頭を下げると、一気に牛乳を飲み干した。

「ふうっ、うまい」ユウの顔に、笑みがこぼれた。

鼻の下を真っ白にしたユウを見て、吾郎もにっこりと笑った。

「ユウ、腹減ってたのか?」

「晩飯食ってなかったから……」

「よし、待ってろ」吾郎は、張り切って台所に向かった。

鍋の音や水道の音が聞こえてきた。床をきしませる足音もした。それを聞きながら、二人は黙ったままだった。

Hop キーワードをさがそう!

(1) 「ユウ」は、どのような姿で座り込んでいたか。文章から八字で抜き出し、で囲みなさい。

(2) 軒下にいた「ユウ」は、どのような顔をしていたか。文章の中からさがし、で囲みなさい。

(3) 台所からはどのような音が聞こえてきたか。文章の中から四つさがし、で囲みなさい。

Step ポイントをつかもう!

線「おっ、なんだ、コージ。マラソンでもしないかと、吾郎が言ったのはなぜか。最も適切なものに○をつけなさい。

ア 吾郎とコージは、まだ身体があたたまっていなかったから。

イ 夜のマラソンは、吾郎とコージの日課と決まっていたから。

ウ ユウをだれもいないところで、思いきり泣かせてあげたかったから。

エ 泣きそうになっているユウをはげましてやろうと思ったから。